

# SUWA SHINKIN BANK REPORT 2025



2025年7月27日開通予定の諏訪湖スマートインターチェンジ周辺

皆さまには、平素から諏訪信用金庫に対しまして、格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに当金庫の現況につきまして、より深くご理解いただくために、経営方針ならびに2024年度の業務・活動報告をまとめました「諏訪信用金庫ディスクロージャー2025」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いです。

2024年度は変化が多い年でした。日銀のマイナス金利解除以降、約37年半ぶりに一時1ドル160円を超える円安が進行し、日経平均株価が初めて40,000円を超えました。円安効果や値上げによる利益の押し上げ、好調なインバウンド需要などで大手企業の業績が回復しました。半面、原材料やエネルギー価格上昇に伴う物価高騰が多く分野の重荷となり、特に米の価格高騰と品不足は「令和の米騒動」とも言われました。さらに回復傾向とともに、少子高齢化による人手不足も顕著になりました。人材確保などに向けた賃上げは、バブル期以来の伸びを記録しましたが、大手企業と中小企業には格差があります。政局では、第50回衆院選で15年ぶりに自公政権が過半数割れし少数与党となりました。そして米国のトランプ大統領の再選は、世界に大きな影響をおよぼしています。

諏訪地方の企業や住民もこうした大きな流れにあって、さまざまな影響を受けています。その中で、地域と運命共同体の諏訪信用金庫は、2024年度から2026年度までの中期経営計画、すわしん『サステナブル・ビジョン2026』を進めています。ビジョンは“あなたの一番身近な相談相手”「そうだ、しんきんに聞いてみよう!」です。メインテーマは、お客さま目線の「お客さま満足度（CS）の向上」、諏訪地域目線の「地域貢献」、職員目線の「人的資本経営（職員の幸せ、ウェルビーイング）」、金庫目線の「生産性の向上」です。目まぐるしく変化し、先行きが不透明な状況にあって、まず信頼関係を基本とします。その上で、皆さまにとって身近な存在であり、いろいろな相談をいただける信用金庫を目指して、各種施策を展開しています。

2025年は夏の観光最盛期の7月、いよいよ諏訪湖スマートインターチェンジが開通します。諏訪地方への新たな導線は利便性の向上だけでなく、観光をはじめとした産業振興、災害時の緊急物資輸送など大きな効



果が期待されます。同じ理念を持つ長野、山梨、静岡の信用金庫が連携して広域交流を支援し、販路拡大などの効果を上げている中部横断自動車道との相乗効果も期待されます。

また、リスクに立ち向かい、新たな価値観の創出に向けて、今春開いた信州オープンイノベーション（協業）フォーラムでは、AIやIoTなどを駆使して新しい技術やアイデアを持つスタートアップ企業と既存企業が協業を目指し、想像以上の熱気で情報交換しました。諏訪地方の新たな胎動です。昔から諏訪人は進取の気性が特徴と言われ、新しいものを取り入れながらダイナミックな変革を行ってきました。時代の流れを汲み、変化に対応できる土地柄にあって、私たちはお客さまの考えや要望にしっかりと耳を傾け、課題と一緒に探り、解決をサポートします。

地域の皆さまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諏訪信用金庫

理事長 田中 輝明

経営理念

諏訪信用金庫は、みなさまと共に、豊かな地域社会の実現をめざします。

経営方針

- 1 質の高い金融サービスの提供
- 2 法令遵守と健全経営の徹底
- 3 職員の資質向上
- 4 働きがいのある明るい職場づくり

当金庫の概要 (2025年3月31日現在)

名称	諏訪信用金庫
本店所在地	〒394-8611 長野県岡谷市郷田2-1-8
電話番号	0266-23-4572
創立	1937（昭和12）年3月6日
店舗数	21店舗
ATMコーナー数	25ヶ所
常勤従業員数	265人
会員数	20,613人
出資金	8億53百万円
預金積金残高	4,212億1百万円
貸出金残高	1,934億9百万円
自己資本比率	23.91%

諏訪信用金庫は、お客さまをはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創るべく役職員一丸となって取組んでまいります。

計画名称

すわしん『サステナブル・ビジョン2026』

中期経営計画ビジョン

あなたの一番身近な相談相手

「そうだ、しんきんに聞いてみよう!」

皆さまからいろんなご相談をいただける信用金庫を目指します



活動スローガン

未来へ向かって プラス1

お客さま満足度の向上へ プラス1

地域の発展に プラス1

職員の幸せに プラス1

生産性の向上へ プラス1

中期経営計画のメインテーマ

1. お客さま満足度（CS）の向上【お客さまの目線】

お客さまから選ばれる金融機関となるために「職員の接客、提案・相談対応能力」「商品・サービス、店舗」の充実を図ります。

2. 地域貢献【諏訪地域の目線】

持続可能で豊かな地域社会実現のために「諏訪地方のハブ（中心、中核）」になるべく活動します。

3. 人的資本経営（職員の幸せ、ウェルビーイング）【職員の目線】

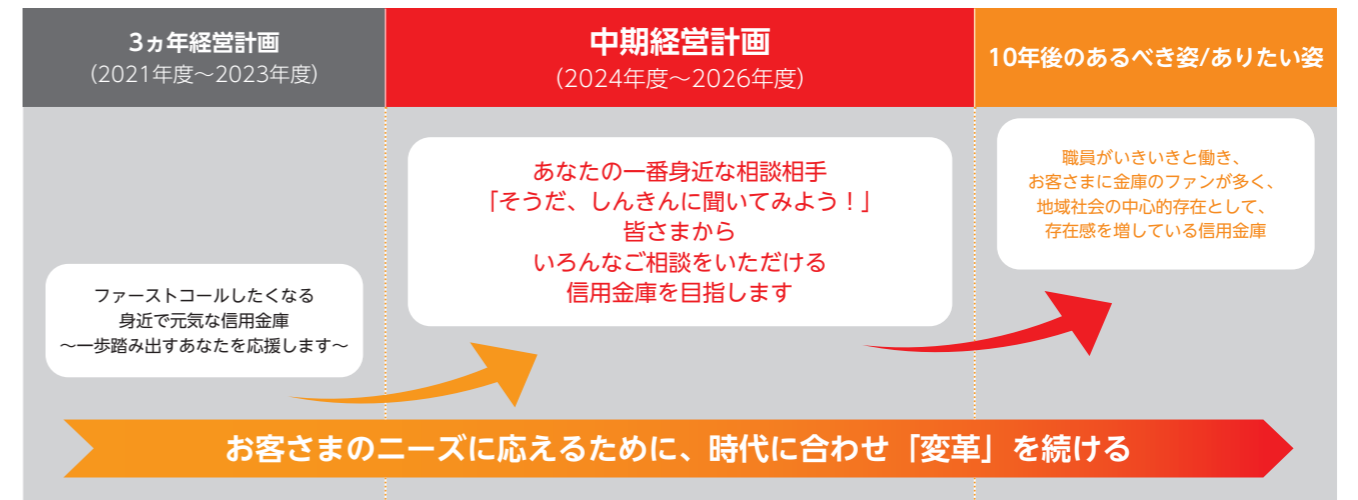
職員が能力を発揮し、働きがいを感じる組織文化・風土を醸成し、仕事への熱意、金庫への愛着心の向上を通じて成長を目指します。

4. 生産性の向上【金庫の目線】

「ワークライフバランスの向上」や「働き方改革の一層の推進」と、経営基盤の強化を両立させるべく生産性の向上を目指します。

諏訪信用金庫が目指すもの

「10年後のあるべき姿/ありたい姿」からのバックキャストと、「今後10年間にどのようなことが起こり得るか」を考えるフォアキャストを行い中期経営計画を策定しました。

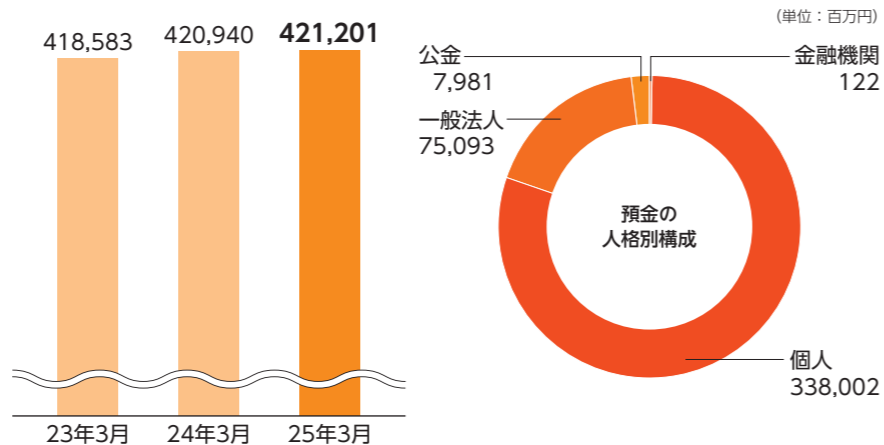


●預金積金残高

**4,212億円**

前期末比+2億円

預金積金残高は、個人のお客さまからの預金を中心に順調に推移し、前期末比2億61百万円増加しました。

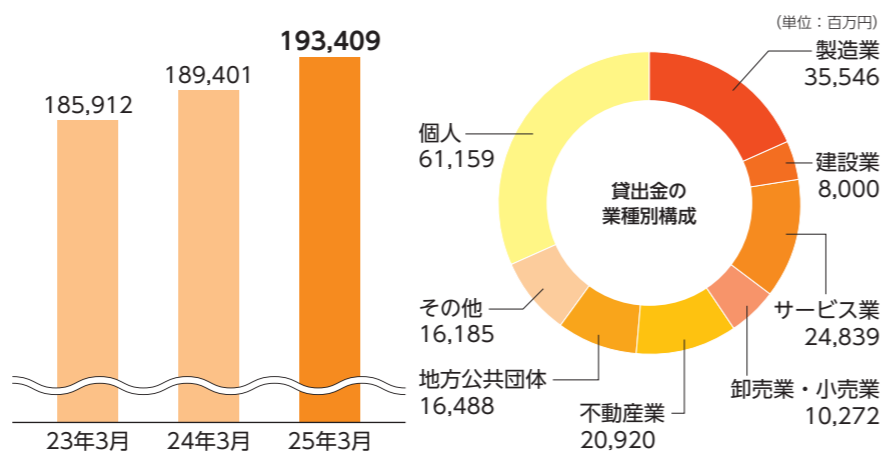


●貸出金残高

**1,934億円**

前期末比+40億円

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的に応え、前期末比40億8百万円増加しました。

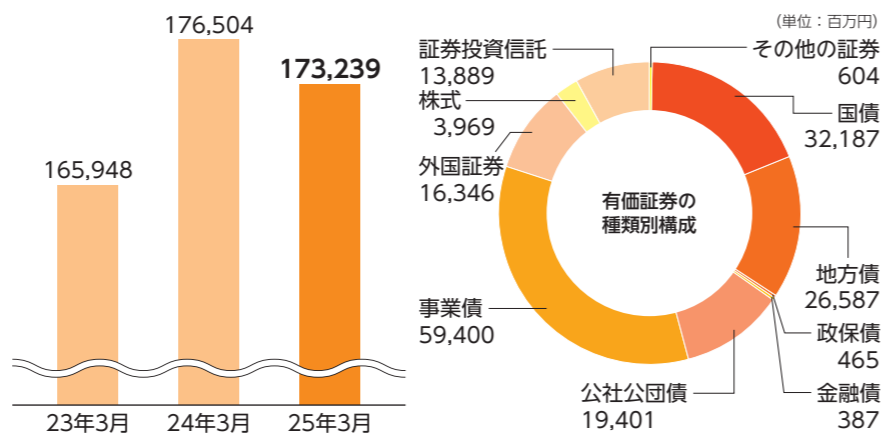


●有価証券残高

**1,732億円**

前期末比△32億円

有価証券運用は、流動性が確保された商品、リスクの所在が明確な商品を中心とした運用を心掛けています。

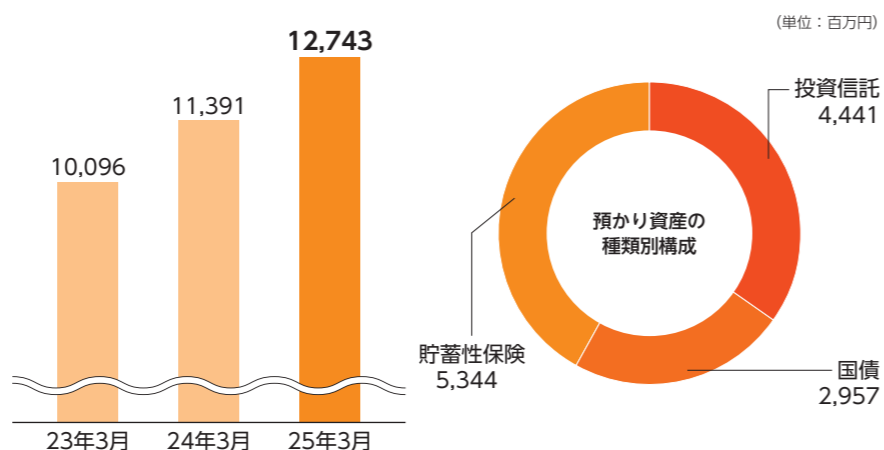


●預かり資産残高

**127億円**

前期末比+13億円

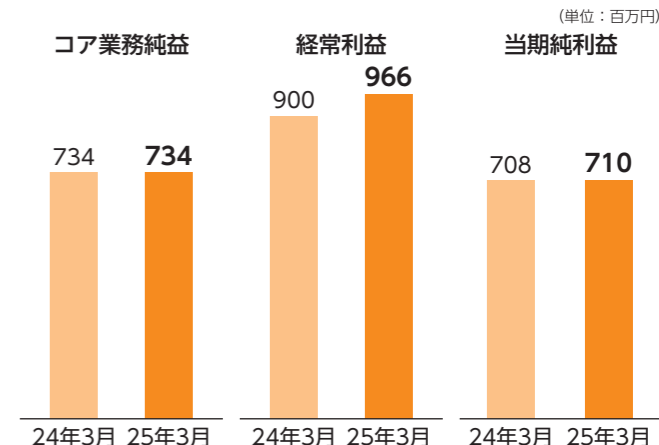
お客さまの保有資産の状況や運用方針に合わせた、商品やサービスの提案を行っています。



●当期純利益

**7億円** 前期末比+0.01億円

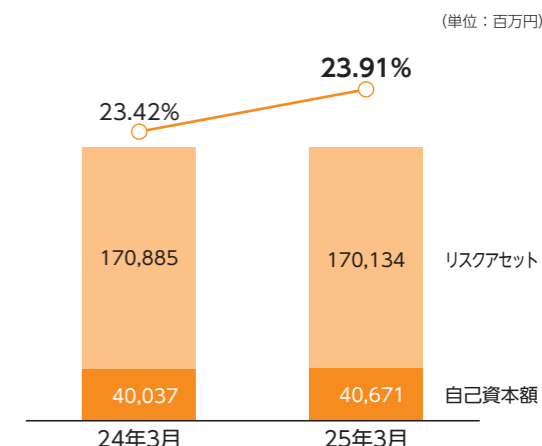
金融機関の主業務活動による利益を示すコア業務純益は、資金調達コストや経費の増加を資金収益の増加などで補い、前期末と同額になりました。また、経常利益は株式等売却益の増加などにより、前期末比65百万円増加、当期純利益は1百万円増加となりました。今後も、地域のお客さまのニーズにお応えできる業務展開と安定的な収益確保により、「安心と信頼」のさらなる向上に努めてまいります。



●自己資本比率

**23.91%** 前期末比+0.49ポイント

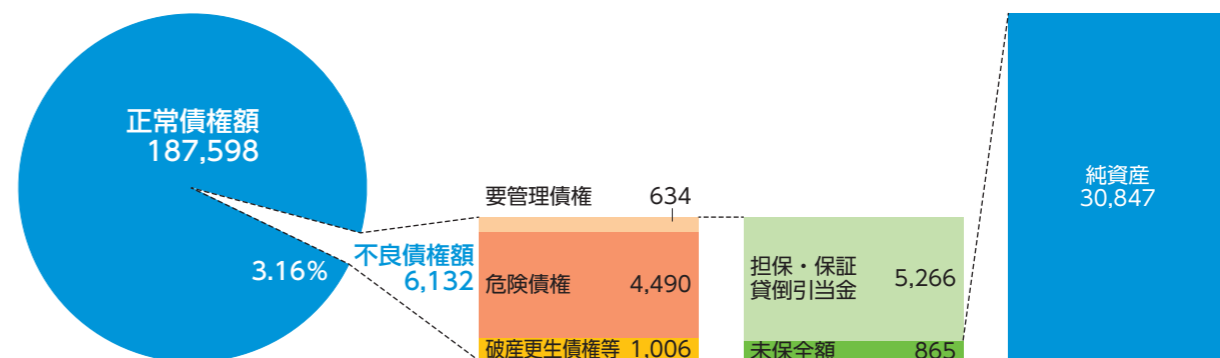
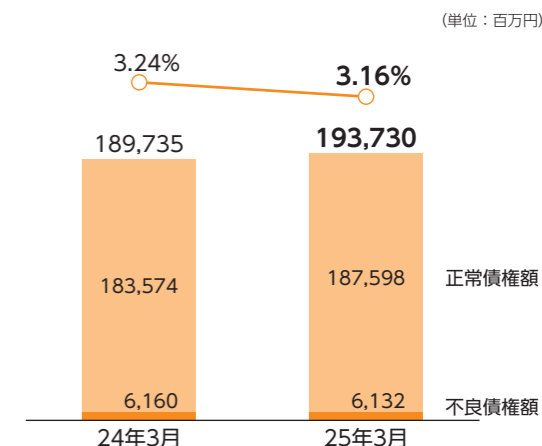
自己資本比率は、金融機関の健全性を示す指標として用いられ、その水準が高いほど、経営がより健全であることを示しています。2025年3月期における自己資本比率は23.91%であり、金融庁告示に定められている国内基準4%を大幅に上回っています。



●不良債権比率

**3.16%** 前期末比△0.08ポイント

金融再生法に基づく不良債権額は、前期末比28百万円減少の61億32百万円、不良債権比率は0.08ポイント低下し3.16%となりました。不良債権のうち85.8%は担保、保証等により保全されており、保全されていない部分は8億65百万円となりますが、当金庫は308億円の純資産を備えており、影響は極めて少ないものとなっています。



## 諏訪信用金庫 SDGs宣言

当金庫は国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、2019年6月21日にSDGs宣言を行いました。経営理念「諏訪信用金庫は、みなさまと共に、豊かな地域社会の実現をめざします。」のもと、地域金融機関として事業活動を通じ、「①地域社会 ②地域環境 ③地域経済」の3つの側面から持続可能な地域の実現に貢献していきます。



### SDGs「持続可能な開発目標」とは

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されています。

## SDGsへの取り組み



### SDGs定期預金「みんなのえがお」

長野県諏訪養護学校と長野県花田養護学校への寄付を明記して行ったSDGs預金「こどものえがお」が募集総額に達し、富士見町の諏訪養護学校で7月、両校が望む物品合計32点の贈呈式が行われました。諏訪養護にはトーンチャイムなどの楽器、花田養護にはポータブル人工呼吸器など医療ケア用品を寄贈しました。今後もSDGsの実現に貢献する取り組みを行っていきます。



### すわしんSDGs宣言サポートサービス

事業者さまのSDGsの取り組みをサポートするために、「すわしんSDGs宣言サポートサービス」を提供しています。同サービスでは、事業者さまのSDGs宣言策定のサポートを通じて、SDGsの達成に向けた取組状況の見える化を行い、明らかになった課題に対するソリューションを提供しています。

### SDGs・脱炭素・ESGサポートローン

SDGs、脱炭素経営やESGに取り組むお客さまの資金ニーズに応えるため、「諏訪しんきん SDGs・脱炭素・ESGサポートローン」を取り扱っています。再生可能エネルギーや省エネルギー設備資金、SDGsの取組みに関わる運転・設備資金にご利用いただけます。

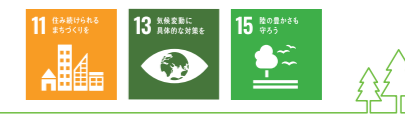
### SDGs債への投資

SDGs債とは、SDGsの目標達成に貢献するための事業の資金調達のために発行される債券です。SDGs債にはグリーンボンドやソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどがあり、グリーンボンドは環境改善効果が期待できるプロジェクト、ソーシャルボンドは社会課題に貢献するプロジェクト、サステナビリティボンドは環境・社会課題の両方のプロジェクトの資金調達のために発行されます。

当金庫では、長野県が発行したグリーンボンドをはじめ、SDGs債に投資を行っています。今後もSDGs債への投資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2022年度	2023年度	2024年度	2018年度からの累計
26億円	40億円	26億円	152億円

## 地域環境への取り組み



### もりの里親事業の実施

諏訪市の北真志野生産森林組合と行っているもりの里親事業が10年となりました。2014年から始めた事業で、資金提供とともに、多くの職員やその家族が参加し、同組合員の指導で森林整備に尽力しました。2024年6月、

同市湖南青木沢の「憩いの森」で、今後5年間の新たな契約を交わしました。緑多き恵まれた環境に感謝し、これからも継続して実施していきます。



### しんきん諏訪湖スタジアムの美化活動

2017年に球場のネーミングライツを取得したことを機に「しんきん諏訪湖スタジアム」の美化活動を実施し、主にスタジアム周辺の草取りを行っています。

活動を通じて、学生・社会人・プロの選手達が最高のプレーができ、白熱した試合が繰り広げられる環境づくりを今後もお手伝いしていきます。



### 地域ボランティア活動への参加

長野県建設事務所が主催する「諏訪湖アダプトプログラム」に参加し、年2回諏訪湖沿い（下諏訪町赤砂崎公園周辺）のゴミ拾いを実施しています。

また、「諏訪湖周一斉清掃」にも春と秋の2回、諏訪市エリアで参加しています。



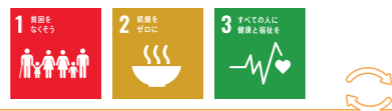
## 諏訪信用金庫 環境方針

当金庫は地域環境・地球環境の保全に配慮した事業活動を通じて、地域金融機関としての社会的責任、公共的使命を果たしていきます。

- 1 適用可能な法的要求事項および当金庫の環境側面に関して、当金庫が同意するその他の要求事項を順守します。
- 2 環境管理システムを構築し、全要員参加により継続的改善への取り組みと、環境汚染の未然防止と環境保全に努めます。
- 3 この方針に沿って環境目的および目標を設定し、かつ見直します。
- 4 当金庫は次のような課題を掲げ、全要員一丸となって取り組みます。

- ①省エネルギー・省資源の推進 ②資源のリサイクル化 ③環境配慮型の金融商品、サービス、情報の提供 ④地域美化運動への参加
- この環境方針は、全要員に周知徹底し、また当金庫外へも公表します。

地域社会への取組み



信濃グランセローズ公式戦に子どもたちを招待

しんきん諏訪湖スタジアムで行う信濃グランセローズの公式戦に、諏訪地域の小学生を1人1試合ずつ無料招待するため、金子ゆかり諏訪広域連合長に4月、入場引換券約9,300枚を寄贈しました。ネーミングライツを取得した2017年から8回目になります。



フードドライブ事業

SDGsの一環で、フードドライブ事業に取り組みました。6月には本店に備蓄していた災害時用物資の入れ替えを前倒して行い、NPO法人フードバンク信州へ寄託。11月には県下6信金の共同企画で広くお客さまに呼びかけ行い、集まった約1,400点、830\*の善意の食料を長野県諏訪地域振興局に寄託。それぞれ食料が必要な団体や家庭に贈られました。



投資ゲームで金融教育

諏訪清陵高校附属中学校で7月、原中学校で1月に金融講座を行い、人事部とマネーアドバイザーが講話やグループワークで、お金の機能や役割、必要性などを伝えました。生徒達は投資を疑似体験するゲームなどに、目を輝かせて取り組んでいました。



親元を離れた子どもたちを支援

岡谷市川岸上の児童養護施設つつじが丘学園に12月、支援金10万円と米60\*を贈りました。同園への寄付は、当金庫創立80周年記念事業以来、8回目です。また2024年から、卒園の時を迎えた子どもが、初めて社会に出て困らないように、園の依頼で金融教育も行っています。



夏休みこども見学会

夏休みこども見学会が8月、本店で行われました。諏訪地方の小学5、6年生と保護者10組が参加。20年ぶりに発行された新紙幣の特徴を興味深く調べたり、1億円の重さ体験、店内や金庫室の見学などで、当金庫や金融機関について知識を深めました。



シルキーコンサート開催

2024年のシルキーコンサートは11月、梅沢富美さんと研ナオコさんのステージをお客さまにお届けしました。今回は茅野、富士見、原方面からの利便性を高めるため、会場を例年の岡谷カノラホールだけでなく、茅野市民館にも設定し、各会場2公演合わせて4公演を行い、合計で3,243人の来場がありました。来場者は2人が繰り広げる人情芝居や歌謡ステージ、舞踊をとっても楽しめた様子でした。



6月15日は「信用金庫の日」

信用金庫の日の6月15日、当金庫では、職員が献血と募金活動を行いました。献血は本店と六斗橋支店の2箇所で行い、多くの職員が参加しました。

信用金庫の日は1951年6月15日に信用金庫法が公布・施行された日で、全国の信用金庫が様々な地域活動を実施しています。



諏訪しんきんサービスによる冷凍自販機好調

2024年2月に今井支店敷地に設置し、当金庫のグループ会社の諏訪しんきんサービスが運営する冷凍自販機が好評で、11月に2台目が増設されました。金融機関の敷地にある珍しさや、取引先の人気商品が手軽に買えるとあって、多くの利用者がいます。



しんきんカップ少年サッカー大会開催 (独立行政法人日本スポーツ振興センターとのタイアップ事業)

地域のスポーツ振興や、スポーツを通じて次世代を担う子どもたちを積極的に支援するために「しんきんカップ少年サッカー大会」を開催しました。今年で11回目の開催となり、諏訪地域の少年サッカーチーム11チーム約200名の子どもたちが参加しました。



お客さまに安心してご利用いただくために

当金庫では、特殊詐欺被害などからお客さまの大切なご預金を守るための取組みをしています。

特殊詐欺被害防止の啓発活動

諏訪地方の3警察署と連携し、特殊詐欺被害防止啓発活動を行いました。買い物客に啓発チラシなどを配布しながら、被害防止を呼びかけました。



特殊詐欺被害防止への貢献

特殊詐欺被害を未然に防止したとして、岡谷警察署から本店営業部に感謝状が授与されました。





## 地域経済への取組み

### ビジネスサポートセンター CHINOをオープン

茅野本町支店内に8月、「諏訪信用金庫ビジネスサポートセンター CHINO」を開設しました。経営課題解決の新たな拠点として、茅野、富士見、原方面の方を中心に信用金庫の基本の「face to face」を実現し、充実したサポートを行います。



### ひがしんビジネスフェアに参加

東京東信用金庫が11月、東京両国国技館で開催した「ひがしんビジネスフェア2024」に、当金庫関連会社の地域商社SUWA（株）が出店しました。諏訪地域の食品を中心にブースにて販売を行いました。当日は多数の来場者があり、都内在住の方に向けて諏訪地域の魅力や情報を発信しました。



### 信州協業フォーラムを共催

長野県の創業支援拠点・信州スタートアップステーション（SSS）が主催し、当金庫が共催して信州オープンイノベーション（協業）フォーラムが2月、諏訪市のすわつチャオで開かれました。新しい技術やアイデアを持つスタートアップ企業との協業への関心は高く、活発な情報交換が行われました。



### 諏訪の特産品をアピール（SA/PA向け商談会）

高速道路のサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）で、諏訪地方などの特産品や工業製品を扱うための商談会を3月、SUWAガラスの里で行いました。諏訪地方や松本市、安曇野市の21業者が展示。中央道、長野道、上信越道のSAやPAのテナント関係者にアピールしました。出店企業もSA、PA側も新たなアイテムを求める傾向が強く、熱心な商談が行われました。



### 若手経営者・後継経営者の育成

若手経営者・後継経営者を中心に組織した「ユースクラブ」「ビジネスクラブ」は約330名の会員が加入しており、経営者や会員企業社員を対象とした各種研修会や講演会を開催しています。

2024年度は若手社員対象の「若手社員向けセミナー」を実施しました。世代・トレンド評論家の牛窪恵さん、銀座のクラブオーナーの日高利美さんをお招きした講演会のほか、第72代横綱稀勢の里の二所ノ関寛さん、星野リゾート代表の星野佳路さんのオンラインセミナーを開催しました。



## 職員への取組み



### 健康経営優良法人認定

経済産業省と日本健康会議が提唱する「健康経営優良法人2025」の大規模法人部門で認定されました。職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取組みが評価されました。今後も健康経営の推進を通じて、健康の維持や増進に取組むことで活力ある組織づくりと地域社会の発展に貢献していきます。



### 公認サークル活動

職員同士が交流し、よりよい職場環境や組織風土の醸成を目指した公認サークル活動が、活発に行われています。スノーボードやキャンプなどのサークルでは、所属部署や年代を超えた共通の趣味や活動で、職員同士が親睦を深めています。



### 女性制服廃止、男性ノーネクタイに

長年親しまれてきた女性正職員の制服が2025年3月31日で廃止されました。男性職員は通年ノーネクタイとしました。「女性は制服、男性はスーツにネクタイ」という固定概念にとらわれず、新しい発想や多様性を尊重する風土醸成を目的としています。時代や社会変化に対応した職場環境を整える取組みの一環です。



### 次世代育成支援行動計画（2024年4月1日～2027年3月31日）

すべての職員がその能力を十分に発揮し、安心して働けることができる雇用環境の整備を図るとともに、次世代育成支援について、地域に貢献する金融機関となるため、次のような行動計画を策定しています。

- 仕事と家庭の両立のために、一人当たりの総労働時間の削減を図ります。
- 男性の育児休業取得を推進します。

### 女性活躍推進にかかる行動計画（2024年4月1日～2027年3月31日）

女性が従業し、活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のような行動計画を策定しています。

- 女性職員が多様な職種で活躍してもらうために、計画期間中に3名以上を渉外担当に登用します。
- 女性の役席の割合を現在27%のところ30%に増やします。

### 子育てサポート企業

当金庫は次世代育成支援行動計画に取組み、その実績により長野労働局から「子育てサポート企業」として「くるみん」が認定されました。今後も引き続き職員が働きやすい職場環境づくりに取組み、地域社会の発展に貢献していきます。



### 職場環境改善の取組み

長野県は職場環境改善事業の一環として、誰もがいきいきと働くことができる職場づくりに先進的に取組み、実践する企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」に認定しています。当金庫は「ワークライフバランスコース」、「ネクストジェネレーションコース」の2コースで認定されています。

